※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学ＩＡ演習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ジュニア演習数学Ⅰ・A　受験編　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅰと数学Ａで学んだ内容について、重要な公式や定理等を振り返ったうえで、実践的な問題演習に取り組みます。
自分の苦手な分野や忘れている分野は特に力を入れて復習をしましょう。実践練習では、「解けた！」という喜びをできるだけ多く味わえるように、いろいろな問題に精一杯チャレンジしましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）　数学Ⅰ・Ａの学習内容について，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（2）　数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
（3）　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ・Ａの学習内容について，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察することができる。社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1.　式の展開･因数分解 2.　根号を含む式と計算 3.　1次不等式 4.　2次関数のグラフ 5.　2次関数の最大･最小 6.　グラフと2次方程式 7.　グラフと2次不等式	a：乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し，最大値や最小値を求めることができる。 b：問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，文字式や不等式，２次関数を問題解決に活用しようとしている。解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
2学期	11. 三角比 12. 正弦定理･余弦定理 13. 図形の計量 14. 集合と命題 15. 場合の数, 順列 16. 組合せ 17. 確率(1) 18. 確率(2) 19. 確率(3)	a：正弦定理や余弦定理について理解し，三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めることができる。 b：問題を解決する際に，既に学習した計算の方法と関連付けて，式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，三角比，確率の考え方を問題解決に活用しようとしている。解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	8.　平面図形(1) 9.　平面図形(2) 10. 空間図形 22. データの分析	a:三角形、円、空間図形に関する基本的な性質や定理，公式について理解し，それらを用いて長さや面積を求めることができる。分散，標準偏差，散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 b:図形の性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 c: 図形の性質に着目すること，データを分析することにより，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度